

今住む人が幸せに暮らし、若者や子どもたちが住み続ける地域づくりを――

市政発展のため、市民の声を力に

宮内康幸市長が2月28日に初登庁し、新たな市政がスタートしました。

市議会3月定例会に臨んだ宮内市長は、「市民の皆様自身の力に変え、市政発展のため、粉骨砕身、取り組んでまいります」と、市政運営に当たった所の信を力強く表明しました。

市長所信表明 ※抜粋

去る2月6日に執行された市長選挙において多くの市民の皆様のご支援をいただき、第3代匝瑳市長として匝瑳市の「新たなまちづくり」を託されたことは、この上ない光栄であるとともに、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いをいたしております。

3期12年にわたり匝瑳市のまちづくりにご尽力いただいた太田安規前市長の後を引き継ぎ、さらなる市政の発展を目指し、全身全霊で取り組む所存であります。

6つのまちづくりビジョン

まちづくりの主演は市民の皆様

市民病院の建替の検討

2 安心安全に暮らせるまちづくり

- 激甚化する風水害への対策等、災害に強いまちを築く
- 市民の防犯意識を高め、犯罪のないまちを目指す
- 通学路の防犯、交通安全対策の強化

3 いきいきと暮らす子育てと福祉のまちづくり

- 次代を生き抜く子どもたちへのICTや英語教育の充実
- 子育て視点のまちづくりを推進
- 誰もが生きがいを持てる「生涯活躍のまち」へ
- 認知症対策、介護予防、健康づくり施策の充実

- 未来へ夢と希望を持てるまちづくり

4

- 成田国際空港の機能強化、銚子連絡道路の延伸による産業

用地の整備や雇用の確保
SDGsの推進。自然エネルギーを活かした脱炭素先行地域の実現

● 自然や伝統文化・歴史遺産を活かした賑わうまちに

● 地域のイメージを高めるシテ
イ・プロモーションの強化

5

● 農林水産業と商工業の発展を目指すまちづくり

● 米価の下落対策と農業所得向上を図り、担い手育成に取り組む

● 商工支援団体と連携し、事業者に対する支援の拡充

● 国や県に地域の声を届け、実情に即した支援の要望

6

● 持続可能な行財政運営に
取り組むまちづくり

● 財政健全化と行政のデジタル化やワンストップ窓口の推進

● 新たな施策に積極果敢に挑戦する職場づくりと職員の育成

● みんなの協働で持続可能な行政を目指す

これら6つのまちづくりビジョンを推進するに当たり、特に重点的に取り組むこととした次の「7つの重点施策」を進めてまいります。

※1 情報通信技術 ※2 持続可能な開発目標



支援者から花束を贈呈される宮内市長(左)

7つの重点施策

① 市民が望む新病院の建設

旭匠瑳医師会との強力な連携のもと、新型コロナウイルスなどの感染症対策への機能を装備した、初期救急医療の実践できる市民病院の建設の検討を行います。

② シニア世代の輝く街をつくる

誰もが生きがいを持って「生涯活躍のまちづくり」を推進し、見守りや身体機能向上のため、各地域のサテライトデイサービス機能を強化します。
また、病院への通院や買い物などをサポートするため、新交通システムであるデマンド交通を導入

し、外出を支援します。

③ 農林水産業の所得向上

産業振興課と連携した、農林水産専門室を設置し、耕畜連携による循環型農業の推進など、新たな視点で農家の所得向上につなげます。

④ 銚子連絡道路インターチェンジ周辺の整備

令和5年度に開通する銚子連絡道路(横芝光〜匠瑳間)インターチェンジ周辺の整備を行い、私たちが企業誘致のトップセールスにより雇用を創出します。

⑤ 市民の安全を守る新消防署の建設

24時間・365日機能するため、消防職員の生活空間の充実と、災害時の応急対策拠点機能を有する防災拠点を整備し、行政との連携を図ります。

⑥ 市民が求める生活基盤の整備

道路や生活排水など、日常生活に関わるインフラ整備を実施し、激甚化する風水害対策など、災害に強いまちづくりを進めます。

また、JR八日市場駅南側から乗降可能な改札窓口設置について、東日本旅客鉄道株式会社と協議します。

⑦ 未来を担う子育て支援

地域での子育て環境を充実させるため、幼稚園や保育園、こども

園での延長保育、病児・病後児保育を推進し、保護者の負担軽減や生活支援につなげます。

以上の施策は、匠瑳市総合計画などとの整合性を図りながら、計画的に取り組んでまいります。

3つの基本姿勢

これからの市政運営に当たり、私は次の3つの基本姿勢をもって取り組んでまいります。

1 「市民との対話による開かれた市政運営、言い換えれば、市長の仕事を見える化」する

2 「経済の立て直しに向けて、地域資源をフル活用し、磨きをかけて全国発信」する

3 「前例を打破しチャレンジする行政へ転換」する

これらの基本姿勢のもと、時代に合わせ、旧態依然の仕組みを変え、私自身が現場に向き、その実情をきちんと把握しながら、まちづくりの主役である市民の皆さんの声を自身の力に変え、市政発展のため、粉骨砕身、力の限り取り組んでまいります。

市民の皆様のご理解とご協力、ご支援を心からお願い申し上げます。